

第4次連結中期経営計画と第3次連結中期CSR計画

第4次連結中計の取り組み

コスモ石油グループは、「第4次連結中期経営計画(2010年度～2012年度)」において「石油精製・販売事業での利益回復の実現」と「石油化学・石油開発事業によるポートフォリオの拡充」により、事業基盤の確立と財務基盤の再強化を達成し持続的な成長を図ることを目的として掲げています。

2011年度は、東日本大震災の影響が大きく、震災後の国内需要は回復基調にあるものの、前期に比べ減少したことや、千葉製油所が稼働停止をしたことなどにより収益は悪化しました。今後、千葉製油所を早期に復旧し国内での製品供給に万全を期すとともに、中長期的な展望に立つて、第4次連結中期経営計画の達成に向け、徹底的な「合理化」と会社全体での「変革」を実行していきます。

第3次連結CSR中計の取り組み

CSR経営・環境経営の取り組みにつきましては、「第3次連結中期CSR計画(2010年度～2012年度)」にもとづき、CSR推進体制の機能向上、安全管理の強化、人権・人事施策の充実、環境対応策の推進および地域社会とのコミュニケーション活動の推進を重点項目としています。

コスモ石油グループ経営理念にもとづいてグループ社員全員参加のもと、エネルギーの安定的供給、コンプライアンスの徹底、社会貢献活動・地球環境保全活動の展開などを積極的に推進することで、エネルギーと社会と地球環境の「調和と共生」を図っていきます。また、ニーズをとらえた製品・サービスを提供し、「未来価値の創造」をめざす総合エネルギー企業として社会の持続的発展に寄与していきます。

基本方針 ①

「石油精製・販売事業での利益回復の実現」

1. 合理化計画
 - ・ 要員スリム化
 - ・ 「安全」と「保全費低減」の両立
2. 石油精製
 - ・ 重質油分解装置群の最大活用による「原油調達コストの低減」と「プロダクトミックスの改善」
 - ・ 製油所の適正稼働による需給調整機能の最大限発揮
3. 国内石油販売
 - ・ 販売油種構成の改善
 - ・ 流通、元売双方における適正マージンの確保
4. 海外石油販売
 - ・ アジア、環太平洋での安定販路拡大

基本方針 ②

「石油化学・石油開発事業によるポートフォリオの拡充」

1. 石油化学事業
 - ・ MX(ミックスキシレン)製造装置新設 (30万トン/年)
 - ・ PX(パラキシレン)製造装置建設着手 (80万トン/年)
2. 石油開発事業
 - ・ アブダビ石油(株)の利権更新
 - ・ カタール石油開発(株)「A構造南部油田」の商業生産開始
 - ・ オーストラリアオーデイシャス、テネイシャス油田の早期生産開始
3. 環境・再生可能エネルギー事業
 - ・ ALA:商品化の加速と販売力の強化
 - ・ 風力発電:エコ・パワー(株)株式取得による本格参入

基本方針 ③

第3次連結中期CSR計画(2010-2012年度)と、2011年度の取り組み状況

	重点項目	テーマ	主な活動施策・目標
第3次連結中期CSR計画	CSR推進体制の機能向上	実践度向上のための組織体制の強化	CSR推進責任者/担当者の選任および役割の再確認によるグループ全体のCSR推進体制のレベルアップ
		企業行動指針の認識度・理解度のさらなる向上	・ 定期的な社内研修(企業倫理研修)の継続 ・ モニタリング(CSR現状調査)の実施
		社規・マニュアル類に準拠した効率的な業務の推進	・ 社内インフラの活用などによる業務の平準化・簡素化および情報管理強化
	安全管理の強化 (第3次連結中期安全計画) ⇒詳細はP.28を参照	危機管理体制の再構築	・ 全社横断的なリスクの洗い出しおよび対策策定の継続 ・ 教育訓練(BCP)の継続実施
		事故削減の定量目標を設定し実績を評価・改善することで安全レベルの向上を図る	<製油所・コスモ松山石油(株)> 事故ゼロの達成・維持(2011年:不安全不具合発生件数のベース年比90%以上削減) <その他部門(各事業所/グループ会社)> 労働災害ゼロ/削減、事故・トラブルゼロ/削減など、具体的な目標に向けた安全管理活動の維持・発展
	人権/人事施策の充実 (第3次連結中期人権/人事計画) ⇒詳細はP.26を参照	人権尊重:ハラスメント防止、差別意識の撤廃	・ 人権研修受講率 80%以上
		多様性尊重・機会均等:公正な採用を継続	・ 障がい者雇用率の維持向上(法定1.8%以上)
		心身のヘルスケア増進:過重労働の禁止、特定健康診断の実施	・ 長時間勤務者の漸次削減
	環境対応策の推進 (第4次連結中期環境計画) ⇒詳細はP.29を参照	職場と家庭の両立支援:育児・介護休職推進、余暇活動支援	・ 有給休暇取得率の維持向上(コスモ石油:80%以上、グループ会社:現状改善)
		事業継続を踏まえた地球温暖化防止への戦略的対応	・ 2012年度において現在の事業領域(原油生産、原油輸送、精製および製品輸送・貯蔵)における排出量の約3%に相当する22万t-CO ₂ /年以上のCO ₂ 削減(施策実施前との比較、風力発電事業によるCO ₂ 削減寄与分を含む) ・ 製造部門、製品輸送・貯蔵部門、オフィスおよび研究部門における温室効果ガスの定量管理
環境負荷の低減		・ 通常運転、非定常作業時等における環境課題の抽出と対策の実施 ・ 産業廃棄物の削減:最終処分率目標の達成(コスモ石油:0.5%未満、対象会社計5.0%未満) ・ 内部監査・外部監査の充実による環境管理の徹底 ・ 土壌環境対応の徹底 ・ エコオフィス活動の推進 (グループ全体:コピー用紙▲9%、社有車燃料▲6%、オフィス電力▲6% ※2007~2009年度の実績平均比) ・ グリーン購入の推進	
社会に応える コミュニケーション活動の推進	環境貢献活動の推進	・ コスモ石油エコカード基金を通じた環境貢献活動の推進 ・ 生物多様性の保全	
	ステークホルダーからの評価を踏まえた効果的なコミュニケーション活動の実現	お客様、地域社会、株主・投資家、国際社会など、さまざまなステークホルダーに対するコミュニケーション活動を継続	

※表中の▲は削減を表します。

2011年度の取り組み状況と今後の課題

わが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災により深刻な打撃を受け、その後の復旧・復興努力を通じてサプライチェーンの急速な立て直しが図られたものの、世界経済の減速の影響が景気の持ち直しを緩やかにし、1年を通じて低調に推移しました。

コスモ石油グループにおいても、東日本大震災で千葉製油所

の火災事故が発生するなど、例年にない事業環境となりました。また、2012年6月に同じ千葉製油所で、アスファルトが敷地外に漏洩する事故が発生しました。未だ完全復旧にはいたらず厳しい収益状況が続いています。2012年度は千葉製油所の稼働再開による収益力の回復のほか、石油開発、石油化学事業の進展による収益の拡大に取り組んでいきます。

経営方針

- 千葉製油所再稼働
- 原油生産数量回復
- 供給体制再構築

今後の課題

- 製油所の安全・安定操業

石油開発事業の取り組み

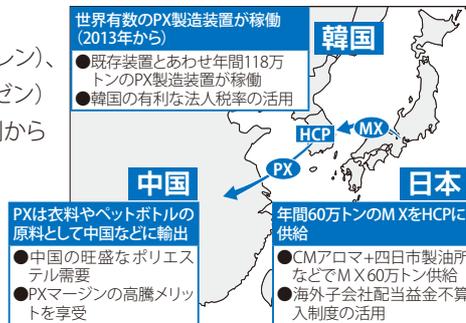
- カタール：
新油田「A構造南部油田」を2011年4月より生産開始
- アブダビ：
新鉱区「ヘイル油田」にて3D地震探鉱の準備作業中
- オーストラリア：
AC/P4鉱区探鉱井の掘削作業に移行



アブダビ石油 鉱区位置図

石油化学事業の取り組み

- アロマ事業 (MX(ミックスキシレン)、PX(パラキシレン)、BZ(ベンゼン)生産事業) 拡大 (80万トン体制から200万トン体制へ)



新規事業への取り組み

- ALA：
家庭園芸用液体肥料は2012年3月より新商品をリリース
- 風力発電：
風力発電事業の拡大をめざし、新規サイトの開発を検討



※達成度：○達成 △一部達成 ×未達成

2011年度の活動総括・主な実績	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ CSR推進責任者・担当者を通じ6委員会の活動内容周知、自部署・会社への展開を促進 ・ 社内研修(企業倫理研修)を10月～翌年2月に実施(3,790名参加) ・ 2011年2月に実施したCSR現状調査結果をグループ全体に周知 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 決裁権限規程を11月に改定(利益相反取引を明記) ・ 情報管理アンケート調査を12月に実施 ・ 外部媒体利用に係る管理強化を2012年3月に実施 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震総括結果を踏まえ、全社横断的なリスク洗い出しおよび対策策定の見直しを3-6月に実施 ・ 東海・東南海・南海の3連動型地震を想定した教育訓練(BCP)を2012年3月に実施 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 製造部門の不安全不具合の発生件数がベース年度と同等(ベース年115件、11年111件) ・ 千葉製油所火災爆発事故を受け再発防止策を実施 	×
<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流部門:異常現象1件、混油5件 ・ 販売・その他部門:トラブル2件 	×
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権研修受講率 85%で目標達成 ・ コスモ石油 2.19%で目標達成 	△
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間勤務者増で目標未達成(2010年度359人→2011年度446人) 	△
<ul style="list-style-type: none"> ・ コスモ石油 86.0%で目標達成、対象会社18社中11社が改善 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ ▲27万t-CO₂/年削減で目標達成 ・ 省エネ法・温対法に基づく温室効果ガス排出量を取りまとめ、報告書を提出 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を10件抽出し、予防措置の検討を実施(完了5件、継続検討5件) ・ 最終処分率の目標達成(コスモ石油0.4%、対象会社5.0%) ・ 内外監査、環境査察を実施 ・ 各サイトの環境影響に応じた土壌浄化、モニタリング、設備管理を計画通り実施 ・ コピー用紙、社有車燃料、オフィス電力共に目標達成。特にオフィス電力は節電要請もあり、大幅削減を達成 ・ 重要サプライヤーで非グリーンサプライヤーであった45社のフォローアップ実施 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ エコカード基金の全15プロジェクトを継続実施 ・ 生物多様性を目的とした新規4件、震災対応1件のプロジェクト支援を開始 	○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 義援金拠出(コスモ石油1億円、社員/会社共同拠出16.3百万円) ・ 堺製油所、コスモ松山石油、千葉製油所で「コスモの森」里山保全活動を実施 ・ 「クリーンキャンペーン」参加者13,975名 	○